

城下まちづくり

通信

第16号



ごあいさつ

令和6年度前半の振り返り
～防災への取り組みを中心に～

会長 増澤 吉雄



今夏はこれまでにない厳しい記録的な猛暑、疲れが溜まる日々が続きましたが、本格的な秋の訪れと共に過ごしやすくなってまいりました。城下地域の皆様には、お元気にてお過ごしのことと存じます。

令和6年も9か月が過ぎましたが、今年は元旦の能登沖地震をはじめとして、暴風、大雨等による甚大な被害が全国各地で発生しました。「災害は、日常生活の中にある」との思いを強く感じる昨今です。

特に、8月8日には宮崎県沖で震度6弱の地震が発生、政府は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を初めて発表し、震度6弱以上の揺れなどが想定される「防災対策推進地域」の29都道府県707市町村に対しては、避難場所、避難経路の確認など防犯対策を執るよう通知がされました。

長野県では、佐久・諏訪・上伊那・下伊那・木曽地域の市町村が該当、自治体によっては、避難所開設、夏イベントの開催や行動制限の判断などの対応に混乱があったことが報じられたところでもあります。

8月後半には超大型台風10号が九州に上陸、各地で停電、河川の氾濫、突風に見舞われるなど「生命の危険を感じさせる」深刻な被害をもたらしました。

線状降水帯の発生、度重なる警戒警報の発令などこの度の事態を見るにつけ、前述したように災害は日常的なもの、日々の生活の中で必要用品の備蓄、避難所への避難など行政頼みでなく、私たち一人ひとりが判断し行動することの重要性を強く感じました。

こうした中、時宜を得た防災講座が8月24日(土)に開催されました。本号では、その内容や防災への取り組みについてのご報告をさせていただきます。

城下まちづくり未来会議におきましても、関係する自治会と連携して防犯・防災への取り組みに努めてまいりたいと思いますので、皆様の更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。





防災への取り組み

① 城南地区防災講座について

- ・日 時 8月24日(土) 午前10時～11時
- ・場 所 城南公民館
- ・テーマ 「大地震に備えるための地域の取り組みとはなにか」
- ・講 師 信州大学学術研究院教育係 廣内大助 教授
- ・参加者 城下及び川辺地区の自治会長、住民自治組織役員他約50人



【内 容】

- ・2024年能登半島地震はどんな地震だったのか
- ・長野県の活断層、その被害予測
- ・活断層地震に備えるには
- ・普段からの取り組み、熊本地震の反省を踏まえて
- ・新たな課題への挑戦(開設訓練、タイムラインマップ、DIG)



【まとめ】

- ・発生時に市役所が駆けつけて何でもしてくれるのは、幻想 → 自治会、住民自治組織の役割は大きい
- ・いざという時のために何ができるのか、何が必要なのか → 自分の住む地域を知る、自分たちで取り組むことがポイント
- ・避難所は自分たちのこととして、自主運営が必要 → 普段から様々な活動をしていざというときにしっかり動ける仕組み、体制を整え訓練をしておくことが大切

(実践例) 避難所開設・運営訓練

タイムラインマップ(災害行動計画)の作成と活用
災害図上訓練(DIG)の取り組み

② 県道上田塩川線道路上への倒木被害について

今年の3月から9月までの間に、県道上田塩川線諏訪形地籍(株)ワールド重機開発須川リサイクルプラント付近において倒木による車両通行止め等の事案が3件発生し、住民生活に多大な支障が生じました。

この件については、その原因となる道路法面における樹木の伐採等措置について、平成24年度以降



上田市及び長野県(上田建設事務所)に要望してきた経過がありますが、改善に至っておりません。

今回の事態を踏まえ、早期の解決に向け要望活動をしてまいります。

③ 防災倉庫保管の資機材について

城下防犯防災協議会においては、昨年度防災倉庫を設置し、LEDバルーン投光器、カセットボンベ式発電機、ポータブル電源、クイックテント等の資機材を配備しました。本年度においても防災資機材の購入を予定しています。

今後これらの防災資機材につきましては、城下地区における災害発生時の使用はもとより、防災訓練、自治会イベント等での活用に供するため関係自治会へ貸し出しをする方向で、現在準備を進めています。



「食料支援」と「食品ロスの削減」を目指した フードドライブの開催

◆「もったいない」を「ありがとう」へ

8月17日(土) 午前10時から2時間、旧JA城下店駐車場でフードドライブを昨年に引き続き開催しました。

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、食べ物を必要とする団体や、福祉施設等に寄付をする活動のことです。

猛暑の中、各自治会の福祉推進委員の皆さんが中心に活動していただきました。そして、上田市社会福祉協議会 荻原宏樹さん、太田沙久也さんの支援を賜りました。

ご寄付いただきました米61kg、ジャガイモ10kg、インスタント食品、レトルト食品等145点を、同月19日(月)に上田市社会福祉協議会へお届けしました。

ご協力いただいた皆様に感謝と御礼を申し上げます。



城下あいさつ・声かけ運動

令和6年度第1回目の城下あいさつ・声かけ運動が、7月1日(月)城下地域の交差点ほか自治会指定の場所、保育園・学校関係、福祉施設等で行われました。

「おはようございます」のあいさつで、私たちの一日が元気にスタートしました。

スローガン「あいさつで明るい未来のまちづくり」に向け、笑顔あふれ、大きな声が城下地域に広がりました。



※写真は、三好町交差点歩道橋に設置したスローガンの横断幕と第四中学校の様子です。



第2回

城下消防まつり

開催のご案内

昨年城下小学校で開催し、大勢の皆様にご参加いただき好評を得ました「城下消防まつり」につきまして、令和6年度は南小学校校庭等を会場として実施されます。

本年度は、上田市の活力あるまちづくり支援金の交付を受け、更に城下地区に隣接する川辺町、下之条、半過自治会の協賛をいただき開催の運びです。ご家族やお友だちをお誘いあわせの上、ご参加ください。

【概要】

- ①目的
 - ・城下地区住民の防火・防災意識の啓発を図る。
 - ・消防団第六分団と城下地域の連帯感の向上と分団活動のアピール
 - ・上田市消防団第六分団員の防災スキルの向上と新入団員の確保
- ②日時 令和6年10月20日(日) 午前9時～午前11時30分
- ③場所 南小学校 校庭及び体育館
- ④内容
 - ・体験コーナー(15メートル級はしご車試乗、放水体験、消火器取扱体験、煙体験、AED取扱体験等)
 - ・防災展示コーナー(台風19号関連パネル・ポスター、防災・避難所用品等)
 - ・フードドライブコーナー(城下地区社会福祉協議会の主催)
 - ・イベント(三好町保育園やまびこ太鼓)
 - ・フードコーナー(焼き鳥)

